

教育発展のために

三浦梧樓賞を創設

葛巻小学校と西村清香さんを表彰

町は、本町の教育振興と町勢の進展に大きく貢献された三浦梧樓氏の功績を後世に永く伝えるため、平成十七年度に「三浦梧樓賞」を創設しました。

この賞は、本町の児童生徒及び他の模範となる行為や活動を表彰し、社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など教育の発展、高揚に役立てることを趣旨としています。

栄えある第一回表彰は、二月十九日「子どもの未来を考える町民のつどい」の席上で行われました。また、つどいでは教育表彰も行われ、平成十七年度に教育・文化部門で活躍した方々の功績をたたえました。

受賞された皆さんを紹介します。(敬称略)

三浦梧樓賞

◆葛巻小学校(長谷川滋校長・児童二百二十四人)



省エネ集会で目標を掲げる児童

功績：平成十三年から二年間、省エネルギー推進モデル校の指定を受け、幅広い観点から省エネルギーや環境問題に取り組み、高い

三浦 梧樓氏



明治45年葛巻町生まれ。盛岡商業高校卒業後、県職員など公職を歴任し、昭和44年退職。その後、三浦新聞店専務取締役に就任。平成5年、葛巻の子どもたちのために役立ててほしいと1,000万円を寄付され、町はそれを基に「三浦梧樓育英奨学会」を設立し、葛巻高校生の進学に活用しています。以後、町に所蔵品や蔵書、平成13年には4,000万円の寄付をいただき、ふるさと葛巻のため多大な貢献をされました。平成14年3月、満89歳で永眠。

評価を得ました。その後も継続して省エネルギー活動を実践。「地球温暖化の防止のために、自分たちができることをしていこう」との学校の取り組みは、家庭や地域、町全体にも広がっています。

◆西村清香(葛巻高校三年)



功績：ジュニアリーダーズクラブ「ドリマー」の会長として、常に明るく前向きにリーダーシップを発揮。同クラブの月一回の会合で研さんしながら、町内外の青少年事業に積極的に参加し、葛巻を心のふるさととして感じる活動を展開しています。

同クラブは、青少年講座や教室、

子供会活動の支援などを通じて、社会参加活動を行っています。

教育表彰

個人の部

▽高家卓範(江刈川)

功績：福島県飯館村主催「愛の句五十選」入選、日本実業団陸上競技連合主催「第四十九回ニューイヤーマン伝俳句コンテスト」五十選入選

▽近藤清助(故人・新町)▽和田資生(葛巻小一年)▽下屋鋪千

絵美(葛巻小五年)▽波紫啓太

(江刈小三年)▽星野光亮(葛巻小四年)▽野館正巨(葛巻小六年)

▽石角理(葛巻中二年)▽入月

康輔(葛巻中三年)▽山下華奈

(葛巻中一年)